

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612

熊本県HP：<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/80/>



兵庫県の豚飼養農場で豚熱感染を確認！

本年7月22日に、兵庫県南あわじ市の豚飼養農場において、豚熱の患畜が確認されました（国内87例目）。国内での発生は今年3月以来、兵庫県では34年ぶりの発生です。

本県でも豚熱ワクチンに関して正しく理解していただくため、農場への説明会を開催し、ワクチン接種の準備等を進めているところですが、残念ながらワクチン接種だけで豚を100%守ることはできません。豚飼養農家の皆様におかれましては、**飼養衛生管理基準を再徹底**していただくとともに、**異状が確認された際には、早急に家畜保健衛生所へ通報**していただくようよろしくお願いいたします。

夏季休暇期間における家畜防疫対策の徹底を！

これから夏季休暇期間を迎えるにあたり、訪日外国人観光客の増加及び日本人観光客の渡航機会も増えると予想されます。

また、アフリカ豚熱や口蹄疫は、アジア・ヨーロッパ各地で発生が続いており、日本への侵入リスクは高い状況です。以下の内容について特に留意して、防疫対策に万全を期すようお願いします。

1 畜産関係者等の海外渡航の自粛等

アフリカ豚熱、口蹄疫等の発生地域への渡航を自粛すること。

外国人従業員を受け入れている場合、母国から肉製品が郵送されることがないように周知徹底すること。

2 衛生管理区域及び畜舎内への病原体の持込みの防止

- (1) 防護柵、防鳥ネット等の設置及び壁や天井の点検・補修により、野生動物侵入防止対策を徹底すること。
- (2) 衛生管理区域、特に畜舎に立ち入る場合又は物を持ち込む場合には、適切に専用の衣服や長靴を着用し、消毒を徹底すること。

3 毎日の健康観察、早期発見及び早期通報の徹底

牛伝染性リンパ腫（EBL）対策に取り組んでいますか！？

牛伝染性リンパ腫（EBL）とは？

※令和2年に「牛白血病」から名称変更

牛伝染性リンパ腫ウイルス（BLV）が原因
感染しても多くは無症状であるが、感染源となる
感染牛のうち数%が発症し、著しく生産性が低下
と畜場で発見されると全廃棄となる
有効な治療法やワクチンはない
届出件数は年々増加



対策は農場毎に様々な方法が
あります。
御関心のある方は阿蘇家保へ
御連絡ください！

感染経路

感染牛の血液や乳汁を介して感染

- (1) アブ等の吸血昆虫
- (2) 去勢、除角等の際の出血
- (3) 注射針や直腸検査用手袋、耳標・鼻環装着器具等の使い回し
- (4) 子宮内で胎子への感染、分娩時の出血、初乳による子牛への感染

ウイルスの感染を防ぐためには

- (1) 農場の感染状況を把握するために検査を行いましょう
- (2) 感染牛群と非感染牛群の分離飼育
- (3) 吸血昆虫(アブ等)防除対策
- (4) 出血を伴う作業に使用した器具の交換・洗浄消毒（1頭毎）
- (5) 感染牛の早期淘汰更新
- (6) 導入牛の検査
- (7) 母子感染の予防
 - ①分娩房の清掃消毒
 - ②早期母子分離
 - ③初乳製剤等の給与
 - ④初乳の凍結融解又は加温処理

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地（国）	畜種	発生日
高病原性 鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N1	ネパール	家さん	令和5年6月3日
		ロシア	家さん	令和5年6月30日
		台湾	家さん（3件）	令和5年7月
アフリカ豚熱		韓国	豚	令和5年7月18日
			野生いのしし（119件）	令和5年5月～7月

令和5年(2023年)7月31日現在



毎月20日はくまもと家畜防疫の日

韓国や台湾など近隣諸国では依然として悪性家畜伝染病が発生しています。地域全体で衛生水準を上げる事が重要です。

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。
下記アドレスもしくは右のQRコードより、登録用ホームページへ！

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/4/56061.html>

